

# カラスの被害を防ぐために



毎年この季節になると、「カラスに襲われる」などの相談が多数寄せられます。春から夏にかけて、カラスは繁殖期を迎え、巣やひなに近づいた人間に威嚇をすることがありますので、気をつけましょう。

## カラス被害の相談先

〈公園の場合〉  
みどり公園課 ☎463-0374  
〈ごみ対策〉  
資源リサイクル課 ☎456-1593  
〈その他に関すること〉  
環境推進課 ☎463-1504

## 対策

### 被害を未然に防ぐ

脅しの効果を狙った防除器具は、カラスが慣れてしまつたため、効果は短期的なものと考える必要があります。速効性はなくとも、長期的にみて、確実にカラスの数を減らすには次のような対策が効果的です。

### ごみの出し方

- 午前8時30分までにごみを出す(収集口直口のみ)。
- 生ごみをごみ袋の奥に入れてきちんと閉じるなど、外から見えないように工夫をする。
- クリーンネット(資源リサイクル課で貸し出しています)で、ごみごみはみ出さないようにしっかりと覆って固定する。

### 食料を与えない

● 庭やベランダに置くペットの餌を取られないように注意する。

### 巣材を与えない

● 針金ハンガーは出しっぱなしにしない(鉄塔や電柱に巣を作ると停電などの被害も起こります)。

### 巣を作りにくくする

- 庭木の二股、三股になつている枝木をせん定して巣を作りにくくし、また、下からのぞけるようにする(カラスは餌場に近く人目につかない所に巣を作ります)。
- 巣が作られたら、卵を産む前に巣落としするのも効果的です(繁殖期に卵を産めない)

### 子育て中のカラスに近づかないようにしましょう

- 卵やひな、巣立つたばかりの子を守るため、激しく威嚇攻撃することがあります。
- 繁殖期は5月から7月で、ひなが巣立つ6月が最も集中します。カラスからの攻撃を防ぐためには、カラスを刺激しないことです。

### ●ごみを食い散らかす

カラスがごみをあさる様子を観察すると、赤っぽいものや濡れたものを狙っています。これは、栄養価のある食べ物(肉や魚)が見つかる確率の高い目印としているようです。

### ●攻撃してくる

カラスは鳥類の中でも子育て熱心で、卵を産む5月からひなが巣立つ6月は特に神経質になります。巣やひなに近づくと人間はカラスにとって危険な敵なのです。

### ●鳴き声がうるさい

カラスはお互いの存在を確かめたり、自分の存在を誇示したりするほか、幼鳥が親鳥を呼んだり、食べ物をねだったりする際に鳴き声を発します。特にこの時期は一段とにぎやかになります。

### ●カラスは掃除屋

カラスは生態系の中では消費者であるとともに、死体を食べて片付ける自然の中の掃除屋の役目をしています。そして、カラスのふんはさらに小さな動物やバクテリアによって分解され、再び植物の栄養となりやすい形にされます。カラスは自然の中のリサイクルが始まるきっかけを作る生き物といえます。

- 図1のような行動に気がついたら早めに立ち去りましょう。カラスの巣やひなから離れば、威嚇は収まります。
- やむをえず通行する場合は、帽子や傘で防御することも有効です。また、貼り紙などで通る人に注意を喚起するのも良いでしょう。
- カラスのひなを拾ったり、近づいたりするのはやめましょう。

図2



図1



## 野生動物にえさをあげないで!

生態系のバランスを崩し、鳴き声やふんなど苦情の原因にもなります。カラス、ハト、たぬきなど、野生動物に餌付けするのはやめましょう。

## カラスの危険な行動

小 ——— 危険度 ———> 大



● 鳴きながら旋回して威嚇をする



● 枝や葉を落とす



● ガッグッと濁った声を出す